

平成30年4月1日
開幕式での全チームショット



今週のベストショット



青松園A 雁ノ巣ライナーズ 対 奈多サンデーズ戦

開幕戦で満塁HRを放ち笑顔で迎えられる奈多サンデーズ近藤崇選手（左）

写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗

奈多グラウンド レッドサンデーズ好機に得点 初戦飾る

レッドサンデーズ（1勝）10103 5 古賀、土師○、古賀一荒口

三友クラブ（1敗）01010 2 足達、平田●一谷崎

2BH：古賀（レッド）谷崎（三友ク）盗塁：川原（正）2、近藤、川原（陸）（レッド）

桜満開の晴天の中、奈多グラウンドで行われたこの試合、まずレッドサンデーズは先頭の川原（正）選手がバンドヒットで出塁。続く土田選手が送って一死二塁とすると、三番川原（陸）選手のショートゴロが三塁悪送球となり先制する。対する三友クラブは二回表、先頭の谷崎選手が二塁打を放つと続く福井選手がセンターへはじき返すヒットを放ち同点とする。レッドサンデーズは三回表先頭の川原（正）選手が四球で出塁するとすかさず二盗、三盗し一死後川原（陸）選手の適時打で勝ち越す。粘りを見せる三友クラブは変わった土師投手から四回裏二死となるも八番安永選手から三連打で満塁とすると、二番平田選手は四球を選び押し出しで同点とする。時間切れもせまった五回表、レッドサンデーズは一死後相手エラーと四球で満塁とすると、五番前田選手も四球を選び1点勝ち越し、続く六番古賀選手は見事センターへ適時打を放ちさらに2点を追加。三友クラブはその裏チャンスを作るも再び登板した古賀投手に押さえられゲームセット。お互い満塁の絶好機に加点できたレッドサンデーズに軍配があがった。（記事・写真：ソルトベ이스ターズ 田中 裕次郎）



レッドサンデーズ先発の古賀投手。



三友クラブ先発の足達投手。



一回表、バンド攻めに守る三友クラブ。



二回表、フライを好捕する三友クラブ坂本（結）中堅手。



二回裏、同点打を放った三友クラブ福井選手。



二回裏、満塁でホームゲッターを狙うレッド荒口捕手。



三回表、二盗に続き三盗を決めるレッド川原（正）選手。



三回表、勝ち越し適時打を放つ川原（陸）選手。



三回表、桜をバックにフライを好捕する三友ク安永右翼手。



リリーフしたレッドサンデーズ土師投手。



三友クラブリリーフの平田投手。



四回裏フライを処理するレッド土田二塁手。



五回表、貴重な適時打を放ったレッド古賀選手。



五回裏、最後の打者を投飛に打ち取ったレッド古賀投手。

青松園B 打線爆発のサンデーズ、好発進！

雁の巣ライナーズ（1敗）020103 6 有馬●ー明瀬（航）

奈多サンデーズ（1勝）04043× 11 砂場○、木下一野々下

HR：近藤（奈多サ）3BH：久保田（雁の巣）2BH：中口（雁の巣）田中2、宮口（奈多サ）

盗塁：今林（颯）、明瀬（航）、国崎（雁の巣）

奈多サンデーズ砂場、雁の巣ライナーズ有馬の両投手で始まった開幕戦。一回は両投手ともにノーヒットに抑える上々の立ち上がり。先制したのはライナーズ。一死から明瀬（航）選手が出塁すると、ミスも重なり一死、三塁を作り、七番久保田選手のファーストゴロの間に生還。更にパスボールで追加点を挙げる。しかしサンデーズはその裏すぐさま反撃。相手のミスにヒットを絡め、無死満塁とすると、ここで八番近藤選手がセンターへ見事な逆転満塁ホームラン！すぐさま逆転に成功する。対するライナーズも四回、久保田選手の2打点目となる三塁打で1点差に詰め寄るも、取られたら取り返す！と言わんばかりにサンデーズ打線が有馬投手に襲いかかり、単打に長打にと四、五回で7点を奪う猛攻を見せた！しかしライナーズも粘りを見せる。最終回サンデーズは木下投手に継投するが、先頭の三番中口選手の二塁打をきっかけにチャンスを作ると、六番国崎選手のライトへのヒットで外野を抜けていき、国崎選手まで生還！土壇場で3点を返す。しかし反撃もここまで。サンデーズが9安打11得点で開幕白星スタート！惜しくも敗れたライナーズも、3安打で6得点とワンチャンスをもものにする無駄のない攻撃で、次に繋がるものを示した。（記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



開幕戦で勝利を挙げたサンデーズ砂場投手。



102球を投げ抜いたライナーズ有馬投手。



二回裏、逆転満塁弾でガッツポーズのサンデーズ近藤選手。



盗塁でチャンスを広げるライナーズ今林（颯）選手。



この日2打点のライナース久保田選手。



二塁打2本で3打点の活躍サンデーズ田中監督。



果敢に打球に突っ込むライナース南選手。



軽快な守備を見せるサンデーズ宮口遊撃手。



最終回、笑顔で登板のサンデーズ木下投手。



開幕戦を終え健闘を称えあう両チーム。

青松園A 奈多クラブ3連覇へ向けて好発進！

奈多クラブ (1勝) 3 3 0 0 0 5 1 1 今林(瑠) ○-安河内

塩浜ジャガーズ (1敗) 0 0 0 0 0 1 1 久保田●-橋村

2BH: 今林(瑠)、安倍(健)、安河内、木伏(奈多ク) 佐藤(塩浜ジ)

初回、塩浜ジャガーズ先発の久保田投手が、四球でランナーをためてしまうと奈多クラブ六番安河内選手のレフトへのタイムリー二塁打で3点を先制した。その裏反撃したいジャガーズは、二死から三番荒木選手がサードのエラーで出塁するもあとが続かず無得点に終わった。続く二回も四球からチャンスを作った奈多クラブが3点を追加し、このままコールドゲームかと思われた。しかし三回以降もチャンスを作るがジャガーズ久保田投手の

粘りのピッチングに追加点を奪うことが出来ない。対するジャガーズも、ランナーは出すものの六回までサードを踏ませてもらえない展開だった。ゲームは六回に入り、ジャガーズ選手にも疲れが見えたのかエラーなどが絡み痛恨の5失点。その裏ジャガーズは三番荒木選手がサードエラーで出塁するも、続く四・五番が三振し、反撃もここまでかと思われたが、五回表に守備から入った山口選手がセンター前ヒットを放つと、七番石内選手のショート内野安打の間に1点を返すが反撃もこれまで…。奈多クラブは甘い球は逃さないぞと言わんばかりの攻撃で三連覇へ大きな一歩を踏み出した。対するジャガーズは監督を筆頭に一人一人が最後まで諦めずに逆転するという気持ちが感じられた試合だった。(記事・写真:三苦三球会 半田 晃大)



両チーム監督の握手で試合開始!!!!



和白リーグ久保田会長による始球式。



ジャガーズ新戦力の1人先発久保田投手。



開幕戦勝利投手の奈多クラブ先発今林瑠生投手。



先制のホームを踏む奈多クラブ今林祐将選手。



狙い球は逃さないジャガーズ四番内田選手。

第1週の編集後記

第1週、4月1日は平成30年度開幕式に引き続いて3試合が行われました。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対三友クラブ戦は、レッドの切り込み隊長・川原正豊選手が打線のリズムを掴むと積極的な走塁で相手ミスを誘い先制。レッドは追いつかれはするも常に先手を取って試合を優位に進めると五回表には先発投手の古賀開選手が勝ち越し打を放つ。最終回二番手土師投手がランナーを溜めるも再びマウンドに上がった古賀開投手が締め、5-2で三友クラブに対する連敗を止めた。

青松園Bの雁の巣ライナース対奈多サンデーズ戦は、初回ライナースの攻撃をサンデーズ野々下捕手が2つ盗塁を刺して凌ぐと、二回裏サンデーズ八番近藤崇選手が満塁HRを放ち最高のスタートを切る。攻撃の手を緩めないサンデーズは主軸が着実に追加点を挙げ11得点。粘るライナースだが失点が大きすぎ、6-11でサンデーズの勝利。

青松園Aの奈多クラブ対塩浜ジャガーズ戦は、初回から四球連発のジャガーズ久保田投手に対し効果的な安打を絡めて二回で6点を奪った昨年覇者の奈多クラブは9安打10四死球で11得点。ジャガーズも5安打を放つも最終回に1点を挙げるのがやっと。11-1で奈多クラブが危なげなく初戦を飾った。

天気も良く、桜をバックにハツラツとしたプレーが見られました。

今年も皆さんの最高のプレーを期待します。